

総務文教常任委員会

旧角館東小野球場の企業用地転用に伴い、 中川小グラウンド、雲然球場を改修整備へ

6月定例会、総務文教常任委員会では、消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備についてや、一般会計補正予算などが審査されました。補正予算には、旧角館東小学校野球場が企業用地として提供されることに伴い、代替施設として、中川小学校グラウンドと雲然球場を整備する内容が盛り込まれました。

主な内容	地域おこし協力隊事業費	△20万円
	地域おこし協力隊員が直接雇用ではなくなるための予算組み替え	
	クニマス里帰りプロジェクト事業費	10万円
	白浜クリーンアップの小中学生用バスの借上料	
	モビリティサービス推進事業費	181万円
	白岩デマンドタクシーと抱返り観光周遊バスの自動走行に向けた調査事業	
	小学校施設整備費	159万円
中川小学校グラウンドの整備費 水道設備と外野フェンスの購入など		
田沢湖マラソン大会負担金	40万円	
田沢湖マラソンに台湾高雄市の選手を招致することに対する滞在費など		
市民野球場管理運営費	283万円	
雲然球場の整備費 トイレ・物品庫のレンタル ダッグアウト整備など		

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

地域おこし協力隊今後も活躍を

質問 地域おこし協力隊に関する予算が減額となっているが、どのような内容なのか？

答弁 この予算は、ドローン関係での地域おこしを目的に、平成29年8月から着任している播磨靖之（はりまやすゆき）隊員からの、雇用契約変更の申し出により、活動報酬等の支出変更による予算の組み換えである。隊員は来年7月で任期満了となることから、これまでの実績を生かした事業に取り組みため、市の職員としての直接雇用関係を終了させる。今後は、今までの市との連携した活動に、任期満了後の定着を見据えた、営業活動が加わることになる。これまで培った観光事業者やグリーンツーリズム関係者、体験施設等とのつながりによって、様々な場面でドローン技術を最大限に活用し、観光振興などに寄与して頂けると期待している。

モビリティサービス事業とは？

質問 モビリティサービス事業費として181万円の予算が計上されているが、具体的に何をするのか？

答弁 この事業は、運転手不足によるサービス低下を防ぎ、今後の地域公共交通へのニーズに対応するため、モビ

リティAIを活用した自動走行の社会実装を目指すもので、東京都にあるモネテクノロジー(株)に委託する。白岩のデマンド型タクシーに調査装置を取り付け運行して頂く。その中でデータを収集し将来の自動走行につなげるという取り組みである。抱返り方面の観光周遊バスも同様の調査を行う。予算の内容としては、システムの初期設定や調査機器の賃借料、及び周知チラシ作成が主な内容である。

中川小学校グラウンドと雲然球場の整備代替施設として適切な環境を

質問 旧角館東小学校野球場が企業用地となることにより、代替施設とされる中川小グラウンドと雲然球場の整備内容について伺う。

答弁 中川小学校野球場については、トイレの借上げや水道の引き込み、外野フェンスの購入、雲然野球場については、トイレ・物置のレンタル、ダッグアウトの改修、外野フェンスネットの購入などが主な内容である。

質問 市が予定する整備内容の他にも、現地を確認すると、学童・500歳野球場に対応するベースが無いことや、バックネット裏の環境が悪いこと、外野に穴が空いているなど、多くの改善すべき点があるがどうするのか。

答弁 ベースについては当初予算で設定している修繕費で対応する。また、バックネット裏の状態も悪く今後整備を進めたい。外野のくぼみや、その他の不具合についても、早急に検討を進めたい。

市民福祉常任委員会

消費増税に関する低所得者対策 プレミアム付商品券を10月から販売へ

6月定例会の市民福祉常任委員会では、令和元年度一般会計補正予算などが審査されました。10月からの消費税10%への引き上げに伴い、低所得者や子育て世代の消費を喚起・下支えすることを目的に、最大で2万5千円の商品券を2万円で購入できる、プレミアム付商品券が販売されます。

主な内容	プレミアム付商品券事業費	4,384万円
	プレミアム助成金、商品券取扱業務委託料、システム改修委託料及び臨時職員賃金等	
	保険事業総務費	137万円
	臨時職員賃金及び健康管理システム改修委託料の追加	
	予防事業費	327万円
風しん抗体検査・予防接種委託料及び事務手数料の追加		
国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金	200万円	
国民健康保険特別会計神代診療施設運営に係る繰出金の追加		



■プレミアム付商品券（見本）

仙北市放課後児童健全育成事業の 設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部改正について

質問 支援員のなり手がいないと聞く。人員の調整等はどうしているか。

答弁 支援員は現在50名在籍している。人手不足時など臨時的に急遽お願いする方も3名いる。また、シルバー人材センターと派遣契約もしており、支援員がどうしても補充できない場合は依頼し対応している。

質問 特別支援相談員を配置したと聞いたがどのようなになっているのか。

答弁 支援員の悩みの相談や指導に携わって頂き、学校との連携・教育面の専門的課題もスムーズに解決されるようになった。

質問 プレミアム付商品券事業費について、住民税が非課税でも、扶養の有無などで対象になる人とならない人が生じ、大変複雑である。
同一世帯の中に課税者がいれば対象にならないのは、低所得者の消費を喚起・下支えする目的に非常に矛盾している。子育て世代が大変なのに、3歳半で区切っている。本当にかかるのは、それ以上の子育て世代ではないか。
答弁 非常に共感する。政策の段階から、地方の意見も参考にしながら、よりきめ

質問 国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金について
質問 市立角館総合病院の医師に管理者を依頼し、神代診療所に37回来るとのことだが診察はするのか。
答弁 7月から翌年3月まで、毎週火曜日の午後に神代診療所に来てもらい診察と管理業務をしていただく予定である。

ここが知りたい
議論のポイント
一般会計補正予算の主な質疑

細やかに対応頂ければ、対象者の問題も良い方向になったと思うが、一括した国の制度なので受け入れるしかない。
質問 過去にもプレミアム付商品券事業があったと思うが、今回は条件付きである。例えば商品券を譲り受けたりする人が出た場合の対策はあるのか。
答弁 対策はない。ただし、引き換えの記録と対象者が何回引き換えたのかは残る。

産業建設常任委員会

新しい税制度「森林環境税・森林環境譲与税」により、 仙北市森林環境譲与税基金が新設される

6月定例会の産業建設常任委員会では、観光商工部、農林部及び建設部に係る消費税法及び地方税法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例が審査されました。また、仙北市基金条例に森林環境譲与税基金を追加することや、令和元年度一般会計補正予算及び水道事業会計補正予算についても審査されています。

主な内容	強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金	183万円
	農事組合法人の農業機械購入に対する補助	
	都市農村交流施設管理運営費	23万円
	㈱アロマ田沢湖のハーブ園ハートハーブの風除室修理費	
	森林経営制度管理事業費	2,639万円
	私有林調査業務委託料 614万円、森林環境譲与税基金へ 2,024万円積立て	
ジビエ振興事業費補助金	150万円	
田沢湖ジビエの会での有害鳥獣（熊、シカ、イノシシなど）の食肉加工施設建設補助		
中小企業活性化支援事業費補助金	30万円	
起業、事業拡大に要する経費の補助金の増額		
伝統工芸樺細工技能後継者育成事業費	72万円	
樺細工職人の増加による後継者育成事業費の増額		

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

新設される森林環境譲与税について

質問 本定例会の補正予算の歳入に森林環境譲与税があり、その歳出は、森林経営制度管理事業費として、私有林調査業務委託料と森林環境譲与税基金への積立金を計上しているが、概要と新たな基金である森林環境譲与税基金は何に使用できる基金なのか。

答弁 4月1日から、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行され、地方譲与税として森林環境譲与税（2,639万円）が国から譲与される。これは、私有林の所有者が、市へ管理を委ねた場合に市が森林環境整備等を行うための財源である。今年度は、林政アドバイザーへ私有林の調査業務を614万円で委託し、残りの2,025万円は森林環境譲与税基金として積み立てる。基金は、手入れの行き届いていない私有林の人工林を管理していくための費用に充てる。

ジビエ振興事業費補助金について

質問 猟友会で捕獲した野生鳥獣の食肉加工施設建設に補助金を出すとのことだが、財源、施設の規模、設備、建設場所を伺う。

答弁 財源は、一般財源と生保内財産区特別会計繰入金からそれぞれ75万円で、合計150万円の補助金である。木造平屋で延床面積は29.51㎡である。

建築確認を取るのに県にも申請する。電気、給排水設備も設置する。建設場所は、これまで、ブルーシートで覆って加工処理

していた生保内電装敷地内である。

質問 建設場所付近は通学路でもあり、鳥獣の解体の様子が子供たちの目に触れないことや、周辺への臭いなどに配慮が必要ではないのか。

答弁 建物は、シャッターや引き戸の扉を設置するなど、外から見えない設計としている。安全面、衛生面でも保健所等の指導を受けて、設計業者と協議して進めていく。

質問 田沢湖猟友会が中心となって設立された「田沢湖ジビエの会」による、有害鳥獣の駆除と食肉加工販売に対する市の考え方は。

答弁 ジビエの加工施設は全国で約590カ所もあり、特に関西、中部地方に多い。秋田県では阿仁の1カ所しかない。市の考え方は、有害鳥獣による人的被害及び農産物被害を防ぐと共に、捕獲後の処理も兼ねた食肉加工販売を副産物として捉え、安全性・衛生面を含めしっかりと体制で運営できるように指導、サポートする。将来的には産業振興、観光振興も期待したい。



■田沢湖ジビエの会の食肉加工施設建設予定地

用語解説

ジビエ：(フランス語) …狩猟で得た野生鳥獣の食肉を意味する言葉。ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化である。